ゆうあい省エネ改修（照明設備LED化）工事

番　号	図 面 名 称	縮尺(A1)
E-01	電気設備工事特記仕様書(1)	N.S
E-02	電気設備工事特記仕様書(2)	N.S
E-03	照明設備姿図	N.S
E-04	電灯設備　１階平面図(改修後)	1/100
E-05	電灯設備　２階平面図(改修後)	1/100
E-06	電灯設備　１階平面図(改修前)	1/100
E-07	電灯設備　２階平面図(改修前)	1/100

ゆうあい省エネ改修（照明設備LED化）工事

工 事 場 所　新潟県岩船郡関川村　湯沢1862-1

建 物 概 要

建　物　名　称	構　造	階　数	延べ面積（㎡）	消防令別表第一	備　考
ゆうあい	ＲＣ	２階	994		

仕 様 書

Ⅰ.　共 通 仕 様

1　本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、次による。
新築及び増築に係る電気設備工事においては、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和４年版」（以下「標仕」という。）及び「国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修　公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和４年版」（以下「標準図」という。）による。
改修に係る電気設備工事においては、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和４年版」（以下「改修標仕」という。）及び標準図による。ただし、改修標仕に記載されていない事項は、標仕による。

2　標仕及び改修標仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。
(1)　「契約書」を「新潟県財務規則（昭和57年3月1日新潟県規則第10号）別記（第78条関係）建設工事請負基準約款」（以下「約款」という。）に読み替える。
(2)　「監督職員」を「監督員」に読み替える。

3　次の各号に該当する標仕及び改修標仕の項目について、標仕及び改修標仕の規定を別表に置き換えて適用する。（以下[ ]は、改修標仕の項目を表示）
(1)　第１編 第１章　1.1.2 [1.1.2] 用語の定義の(ｱ),(ｽ),(ﾂ)
(2)　〃　1.4.2 [1.4.2] 機材の品質等の(1)及び(2)
(3)　〃　1.4.4 [1.4.5] 機材の検査等の(1)
(4)　〃　1.6.1 [1.10.1] 工事検査の(2)及び(3)

4　標仕及び改修標仕の次の項目の規定は適用しない。
第１編　第１章　1.1.2 [1.1.2] 用語の定義の(ﾃ)
〃　1.6.2 [1.10.2] 技術検査

別 表

号	項　目	置き換え後の標仕及び改修標仕の規定
	第１編　一般共通事項 第１章　一般事項	
(1)	1.1.2 [1.1.2] 用語の定義	(ｱ)　「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。
		(ｽ)　「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は新潟県CALSシステム上で電子決裁処理された電磁的記録をいう。
		(ﾂ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。（ただし、②に係る検査を除く。） ①　工事の完成（約款第32条） ②　部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等（約款第38条） ③　部分引渡しの指定部分に係る工事の完成（約款第39条） ④　契約の解除時における出来形部分（約款第48条） ⑤　必要があると認めたときの臨時検査（約款第50条）
(2)	1.4.2 [1.4.2] 機材の品質等	(1)　使用する機材は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿（契約時の最新版）」に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。ただし、仮設に使用する機材は、新品に限らない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間内であることを条件とするものではない。
		(2)　使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料（試験成績書等）を監督員に提出する。 ただし、設計図書においてＪＩＳによると指定された機材でＪＩＳマーク表示のある機材を使用する場合及びあらかじめ監督員の承諾を受けた場合（次の(ｱ)から(ｳ)までのいずれかに該当する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたと見なすことができる。）は、資料の提出を省略することができる。 (ｱ)　建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる機材 (ｲ)　建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿に記載されている機材又は製造所の製品（特記で標仕及び改修標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (ｳ)　特記により指定された材料又は製造者の製品
(3)	1.4.4 [1.4.5] 機材の検査等	(1)　工事現場に搬入した機材は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(ｱ)若しくは(ｲ)に該当する場合及びあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (ｱ)　工事完成検査時または工事写真で、ＪＩＳマークを確認できる場合 を証明するマーク等を確認できる場合
(4)	1.6.1 [1.10.1] 工事検査	(2)　約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。
		(3)　(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査並びに約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に検査を受ける。

Ⅱ.　特 記 仕 様

凡　例

（1）　章と項目は、番号に○印のついたものを適用する。特記事項は、・に○印のついたものを適用する。
（2）　特記事項で○印のない場合は、※印のあるものを適用する。○印と※印のある場合は、○印のあるものを適用する。
○印と ㊟ 印のある場合は、両方を適用する。
（3）　根拠項目の(a-b.c.d)は、標仕の第a編b章c節d項を表す。
根拠項目の[a-b.c.d]は、改修標仕の第a編b章c節d項を表す。

章	項目	特記事項	根拠項目
1 一般事項	1　工事実績情報の登録 2　概成工期 3　内部の工事期間等	請負工事費５００万円以上の場合登録する。 ※　無　　・ 有　　（工期　　令和　　年　　月　　日） 着手　令和　年　月　日 ～ 終了　令和　年　月　日　までとする。 部分使用に係る条件に変更がある場合は、部分使用承諾書により、施設内部の使用を開始する。 次の作業は内部工事着手前に行える。ただし、着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議のうえ決定する。 ※　現場調査　　・	(1-1.1.4) [1-1.1.4] (1-1.2.1) [1-1.2.1]
	④ 施工従事者	資格が必要な工種の施工にあたっては、関係法令に基づき、次の資格を有する者により施工をおこなうこと。 ※　電気工事士　※　認定電気工事従事者　※　消防設備士　※　電気通信工事担任者 ※　特種電気工事資格者（非常用予備発電装置） また、契約電力５００ｋＷ以上の電気工作物においても、次の者により施工をおこなうこと。	

章	項目	特記事項	根拠項目
1 一般事項	⑤ 工事の記録等	契約書に基づく履行報告に当たり報告に用いる書式等は「工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課）」による。	(1-1.2.4)
	⑥ 発生材の処理等	＜表－４＞「発生材の処理等」のとおり。	
	⑦ 完成図等	次のものを作成し提出する。なお、作成方法・部数等は監督員の指示による。 製本（完成図・施工図）、　ＣＡＤデータ、 保全に関する資料	(1-1.3.9) [1-1.9.1]
	⑧ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。	(1-1.7.2)
	⑨ 工事完成写真	工事完成後、整理のうえ監督員に提出する。　提出部数　　部 完成写真は、以下による。 ・受変電設備、弱電設備等の主要機器、主要各室の照明器具、ｺﾝｾﾝﾄ等、及び屋外施設等。 ・改修工事については、主要な部分の改修前と改修後が、比較できるものとする。 ・その他特に監督員が必要と認め指示した箇所とする。	[1-1.11.2]
	⑩ 工事施工状況写真	工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領（令和５年度版）による、工事写真撮影ガイドブック（令和５年度版）」を参考に、撮影計画書を作成して監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。 提出部数　　部 印刷物若しくは電子データ（DVD等のメディア）で提出する。	(1-1.7.3) [1-1.11.3]
	11　他工事との取合い	＜表－５＞　工事区分表による。	
2 共通工事等	① 足場・さん橋等	※　関連工事の関係者が定置した物は、無償で使用できる。 ・　本工事で設置する。	(1-2.1.1) [1-2.2.2]
	2　仮設間仕切り	※　別途工事　・　本工事	[1-2.2.3]
	③ 監督員事務所等	※　設けない ・　既設建物内の一部を使用する ・　仮設事務所内に監督員空間を　　㎡程度確保する 監督員が使用できる備品として、次のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・　保安帽　　ヶ　　・　雨具　　着　　・　長靴　　足 ・　安全帯　　組	[1-2.2.7] (1-2.1.1) [1-2.2.7]
	④ 工事用水	構内既存の施設　　※　利用できる（※　有償　・　無償）　・　利用できない	[1-2.2.4]
	⑤ 工事用電力	構内既存の施設　　※　利用できる（※　有償　・　無償）　・　利用できない ・　既設設備に電力量計を設ける　　・　発電機を使用する	[1-2.2.4]
	⑥ 仮設建物等	現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。 すべて受注者の負担とする。	[1-2.2.8]
	7　残土処理	※　構内指示の場所に敷き均し　　・　構外搬出適切処理	
	8　耐震施工	機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針２０１４年版」による。 （１）　設計用水平地震力 機器の重量［ｋｇｆ］に、＜表－１＞設計用標準水平震度を乗じたものとする。 （２）　設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。	(2-2.1.13) [2-2.1.14]
	9　塗装工事	プルボックス錆止塗装箇所　　※　天井いんぺい部　　※　シャフト内 上記以外のプルボックス　　※　焼付塗装　　・　調合ペイント２回塗 金属製露出電線管塗装箇所　　※　屋外　　・　電気機械室　　・　シャフト	(1-2.7.1) [1-2.8.1]
	10　フラッシュプレート	図面に特記のあるもの及び特殊なものを除き　※新金属製　　・　樹脂製 電力設備　ジョイントボックス用　　・　丸形　　※　角形 通信設備　ジョイントボックス用　　※　丸形　　・　角形	
	11　プレートの用途表示	ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称等を用いて用途を表示する。	
	12　盤類の仕上色	分電盤　　※　指定色　　・　ＪＥＭ１１３５ 制御盤、配電盤　　※　指定色　　・　ＪＥＭ１１３５	
	13　呼び線	長さ１ｍ以上の入線しない管路には１．２mm以上の導入線を挿入する。	(2-2.2.9)
	14　天井仕上区分	（室名）は直天井を示し、（ ）なしの室名は二重天井を示す。	[2-2.2.9]
	15　露出配管配線	改修工事においては極力隠蔽に心がけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。	
	⑯ 再使用機器等	取外し再取付機器は、原則として清掃、調整、絶縁抵抗測定等を行った後取付ける。 ただし、絶縁劣化等により再使用に耐えない場合は、監督員に報告する。	[1-1.4.3]
	17　仮設備	仮設備期間（　・　図示　　・　　　） 仮設備項目（・　受変電　・　自家発　・　火災報知　・　防犯　・　電話　・　LAN）	[1-2.14.1]
	18　あと施工アンカー	＜表－２＞　あと施工アンカーによる。	
	19　機器取付高	＜表－６＞　機器取付高による。	[1-2.12.3]
	⑳ 用語の説明	共通仕様の用語の定義によるほか＜表－４＞用語の説明による。	
3 構内配電線路	1　電気方式	・　高圧　３相３線式６ｋＶ　　・　低圧　３相３線式（　　Ｖ） ・　低圧　単相　線式（　　Ｖ）　　・　低圧　単相　線式（　　Ｖ）	(2-2.11.1) ～
	2　配線方式	※　地中線式（※　管路式　・　直埋式）　・　架空式	(2-2.12.6)
	3　ケーブル埋設シート	※　設ける。	
	4　埋設深	・　高圧ＧＬ－　　ｍ　　・　低圧ＧＬ－　　ｍ	[2-2.12.1]
	5　メッセンジャー線	※　第２種亜鉛メッキ鋼撚線　　mm^2	～
	6　装柱機材	・　一般形　　・　耐塩形	[2-2.13.6]
	7　外灯接地	・　単独　　・　共用	
	8　MH,HH 内支持材接地	・　単独　　※　共用	
	9　接地極埋設標の省略	※　以下の箇所について省略する（・　電柱　※　外灯　※ＭＨ、ＨＨ） ・　省略しない	(2-2.13.14) [2-2.14.14]
	10　電柱名札	※　設ける	
4 接地	1　種別	・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種　・　避雷器用 ・　ＥＬＣＢ	(2-2.13.1) [2-2.14.1]
	2　施工方法	・　一括　・　単独　・　メッシュ	
	3　接地極	・　接地極埋設　・　構造体利用　・　補助接地極	
5 電灯設備	① 電気方式	幹線　・　単相３線式　２００Ｖ／１００Ｖ　　・　直流２線式　１００Ｖ 分岐　⊙　単相２線式（⊙　１００Ｖ　⊙　２００Ｖ）　・　直流２線式　１００Ｖ	(2-2.14.1) [2-2.15.1]
	2　配線用遮断器	定格遮断電流は、最小のもので対称値（　　Ａ）以上とする。	
	3　非常用照明電源	・　電池内蔵形　・　電源別置形	
	4　フロアコンセント	・　収納形　・　上下動形	
	5　予備ﾌﾞﾚｰｶｰ・ｽﾍﾟｰｽ	予備ﾌﾞﾚｰｶｰ（　※　20%　・　　）ｽﾍﾟｰｽ（　※　なし　・　　）	
	6　積算計器	・　無検定　・　検定付	
	7　低圧用ＳＰＤ	・クラスⅠ（ｲﾝﾊﾟﾙｽ放電電流　ｋＡ以上、電圧防護ﾚﾍﾞﾙ　Ｖ以下）・クラスⅡ	
6 動力設備	1　電気方式	幹線　・　３相　３線式　　・ 電圧　・　２００Ｖ　・４００Ｖ	(2-2.15.1) [2-2.16.1]
	2　電動機の接地	・　単独接地　・　共同接地　（・　共通母線式　・　金属管接地式）・架台	
	3　配線用遮断器	定格遮断電流は、最小のもので対称値（　　Ａ）以上とする。	
	4　予備ﾌﾞﾚｰｶｰ・ｽﾍﾟｰｽ	予備ﾌﾞﾚｰｶｰ（　※　20%　・　　）ｽﾍﾟｰｽ（　※　なし　・　　）	
	5　積算計器	・　無検定　・　検定付	
	6　低圧用ＳＰＤ	・クラスⅠ（ｲﾝﾊﾟﾙｽ放電電流　ｋＡ以上、電圧防護ﾚﾍﾞﾙ　Ｖ以下）・クラスⅡ	
7 雷保護設備	1　受雷部	・　突針　・　水平導体又はメッシュ導体　・　構造体利用	(2-2.17.1)
	2　避雷導線	・　引下げ導線　・　構造体利用	(2-2.17.4)
	3　接地極	・　環状接地極　・　板状接地極　・　基礎接地極 ・　網状接地極　・　垂直接地極　・　放射状水平接地極	[2-2.18.1]
	4　外部雷保護	・　レベルⅠ　・　レベルⅡ　・　レベルⅢ　・レベルⅣ	

章	項目	特記事項	根拠項目
8 受変電設備	1　電気方式	・　３相３線式　　・　６ｋＶ	(3-1.1.1) ～ (3-2.3.3) [3-1.1.1] ～ [3-2.4.3]
	2　区分開閉器	種類　・　気中　・　ガス 地絡継電器　・　方向性　・　無方向性　・ 内蔵　・　ＶＴ　・避雷器	
	3　盤形式	・　キュービクル形　・　高圧ｽｲｯﾁｷﾞｱ　・　開放形	
	4　主遮断装置	・　ＣＢ形（・　真空　・　ガス）　・　ＰＦ－Ｓ形	
	5　操作方式	・　電動ばね　・　手動ばね　・　電磁	
	6　変圧器	・　油入　・　モールド　・　高効率形 付属品　・　ダイヤル温度計　・　防振ゴム　・	
	7　高圧コンデンサ	・　油入　・　ガス絶縁　・　モールド	
	8　リアクトル	・　油入　・　モールド	
	9　避雷器	・　2.5kA　・　5kA　・　10kA　・　SPDｸﾗｽⅠ	
	10　絶縁監視装置	・　あり　・　なし	
	11　積算計器	・　無検定　※　検定付	
9 静止形電源設備	1　直流電源装置	用途　・　非常用照明器具電源及び受変電設備制御電源共用 ・　受変電設備制御電源専用 ・ 蓄電池　・　ＨＳ形鉛蓄電池　・　ＭＳＥ形鉛蓄電池 ・　長寿命ＭＳＥ形鉛蓄電池　・　リチウム二次電池 整流器容量（　　Ａ）　負荷補償装置（　　Ａ）	(4-1.1.1) ～ (4-3.3.2) [4-1.1.1] ～ [4-2.4.2]
	2　ＵＰＳ装置	用途（　　） 出力電気方式　・　単相２線式　・　単相３線式　・　３相３線式 出力電圧　・　１００Ｖ　・　１００Ｖ／２００Ｖ　・　２００Ｖ 定格出力（　　ｋＶＡ） 補償時間（　　分以上） 給電方式　・　常時ｲﾝﾊﾞｰﾀ　・　ﾗｲﾝｲﾝﾀﾗｸﾃｨﾌﾞ　・　常時商用給電	
10 発電設備	1　形式	・　キュービクル式　・　簡易式　・　オープン式	(5-1.1.1) ～ (5-1.4.13) [5-1.1.1] ～ [5-2.2.10]
	2　用途	・　防災電源　・	
	3　発電機	電気方式　・　３相３線式　・　単相２線式　・　単相３線式 電圧　・　100V　・　200V　・　200V/100V　・ 周波数　・　50Hz　・60Hz 回転数　・　1500min^{-1}　・　3000min^{-1}　・ 定格出力（　　ｋＷ以上　　ｋＶＡ以上）	
	4　原動機	種類　・ディーゼル機関　・ガスタービン　・ガス機関 ・マイクロガスタービン　・その他（　　） 定格出力（　　ｋＷ以上） 始動方式　・　電気方式　・　空気式 冷却方式　・　水循環式　・　ラジエータ式 始動時間　※　４０秒以内　・　１０秒以内 始動用蓄電池　・　長寿命MSE（　Ah）　・	
	5　燃料	・　軽油　・　Ａ重油　・　灯油	(5-1.6.1) [5-2.4.1]
	6　制御方式	・　自動式　・　手動式	(5-1.7.1) [5-2.5.1]
	7　燃料小出槽	（　　Ｌ）	(5-1.5.1)
	8　主燃料槽	（　　Ｌ）　・　専用　・　共用	(5-1.8.1)
	9　排気系統配管	排気管の断熱材（　※　ﾛｯｸｳｰﾙ　・　　）　厚さ　　mm	(5-1.9.1)
	10　ｺｰｼﾞｪﾈﾚｰｼｮﾝ装置	・　あり　・なし	[5-2.3.1]
	11　太陽光発電	太陽電池　・　結晶系シリコン太陽電池　・　薄膜太陽電池 出力（　　ｋＷ） 系統連系　・　あり　・　なし PV直流用SPD　・クラスⅠ（ｲﾝﾊﾟﾙｽ放電電流　ｋＡ以上、電圧保護ﾚﾍﾞﾙ　Ｖ以下） ・クラスⅡ	[5-2.6.1] [5-2.7.1]
	12　その他発電設備	・　あり（　　発電）　・　なし	
11 構内通信線路	1　配線方式	※　地中線式（※　管路式　・　直埋式）　・　架空式	(6-2.10.1) ～ (6-2.11.4) [6-2.12.1] ～ [6-2.12.4]
	2　ケーブル埋設シート	※　設ける。	
	3　埋設深	ＧＬ－　　ｍ	
	4　メッセンジャー線	※　第２種亜鉛メッキ鋼撚線　　mm^2	
12 構内情報通信設備	1　ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ	・　10BASE-（Ｔ，Ｆ）　・　100BASE-（TX，FX）　・　1000BASE-（Ｔ，SX，LX） ・　2.5GBASE-T　・　5GBASE-T　・　10GBASE-（SR，LR，ER，LX4，Ｔ）	(6-1.5.1) [6-2.14.1]
	2　ポート数	・（　　）	
	3　通信プロトコル	※TCP/IP　・（　　）	
	4　PoE	電力供給機器（・　　・　　）	
	5　無線LAN	通信方式　・１：１　・Ｎ：Ｎ　・１：Ｎ 最大伝送速度　・11Mbps　・54Mbps　・600Mbps　・6.9Gbps	
	6　時刻同期装置	・　標準電波　・　公衆回線　・　ラジオ放送　・　ＧＰＳ ・　地上デジタル放送　・　ＮＴＰサーバー	
	7　通信用ＳＰＤ	・カテゴリC2　・カテゴリD1	
13 構内交換装置	1　交換装置	・　デジタルPBX　・　IP-PBX　・　VoIPサーバ　・　VoIPゲートウェイ ・　ボタン電話装置	(6-1.6.1) [6-2.15.1]
	2　局線応答方式	・　分散中継台方式　・　局線中継台方式　・　ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ方式 ・　ﾀﾞｲﾚｸﾄｲﾝﾀﾞｲﾔﾙ方式　・　ﾀﾞｲﾚｸﾄｲﾝﾗｲﾝ方式	
	3　局線種別	・　デジタル　・　アナログ	
	4　回線数	局線　・　電話回線（　回線以上）　・　専用回線（　回線以上） 内線　・　電話回線（　回線以上）　・　データ端末等（　回線以上）	
	5　電話機取付台数	・　ボタン電話機（　台）　・　一般電話機（　台）　・　多機能電話機（　台） ・　IP電話機（　台）　・　ﾃﾞｼﾞﾀﾙｺｰﾄﾞﾚｽ（　台）　・IPｺｰﾄﾞﾚｽ（　台）	
	6　局線表示盤	（　　回線）	
	7　保安器接地	・　本工事　・　別途工事	
	8　付加サービス機能	・　可変短縮ダイヤル　・　不在転送　・	
	9　電源装置	・　停電補償時間　　時間以上	
	10　時刻同期装置	・　標準電波　・　公衆回線　・　ラジオ放送　・　ＧＰＳ ・　地上デジタル放送　・　ＮＴＰサーバー	
	11　通信用ＳＰＤ	・　カテゴリC2　・　カテゴリD1	
	12　局線中継台	・机及び椅子（　台）	
14 情報表示設備	1　ﾏﾙﾁｻｲﾝ装置	・　発光ﾀﾞｲｵｰﾄﾞ式情報表示盤　・　液晶式情報表示盤　・ ・	(6-1.7.1) [6-2.16.1]
	2　出退表示装置	表示方法　・　発光ﾀﾞｲｵｰﾄﾞ式　・　液晶式 表示盤　・　壁掛形　・　卓上形	
	3　時刻表示装置	親時計形式　・　壁掛形　・　ラック形　・　自立形 回線数　　回線 時報子時計　親時計に　※　内蔵　・　別置壁掛形 チャイム　親時計に　※　内蔵　・　別置壁掛形　・　時報子時計に組込 時刻補正（　　）	

章	項目	特記事項	根拠項目
15 拡声設備	1　用途	・　一般放送用　・　非常放送用　・　併用	(6-1.9.1) [6-2.18.1]
	2　増幅器	・　卓上形　・　キャビネットラック形　　デスク形	
	3　出力	（　　Ｗ）	
	4　マイクスタンド	・　床上形　・　卓上形（・　高さ調整式　・　固定式）	
	5　アンテナ	・　ホイップ　・　ＦＭ（材質　　）　・ワイヤレスマイク用	
	6　マイクロホン	ワイヤレスマイク　・　電波式アナログ方式　・　電波式デジタル方式 ・　赤外線方式	
	7　通信用ＳＰＤ	・　カテゴリＣ２　・　カテゴリＤ１	
16 誘導支援装置	1　種別	・　障害者用インターホン　・　外部受付用インターホン　・　ﾄｲﾚ等呼出装置 ・　インターホン　・　テレビインターホン　・　音声誘導装置　・受付呼出装置	(6-1.10.1) [6-2.19.1]
	2　接続方式	・　親子式　・　相互式　・　複合式	
	3　通話方式	・　交互通話式　・　同時通話式	
	4　テレビインターホン	・　撮像範囲固定式　・　撮像範囲調整式	
17 テレビ共同受信装置	1　通信用ＳＰＤ	・　カテゴリＣ２　・　カテゴリＤ１	(6-1.11.1) [6-2.20.1]
	2　アンテナ	・　ＵＨＦ（・全帯域用　・帯域（　　））	
18 テレビ電波障害防除装置	1　ヘッドエンド	・　鋼板製　・　アルミ製	(6-1.12.1)
	2　機器収容箱等	・　合成樹脂製　・　アルミダイキャスト製　・　鋳鉄製　・　鋼板製	
19 監視カメラ装置	1　伝送方式	・　ネットワーク伝送方式・　同軸伝送方式（・　アナログＨＤ方式　・　ＳＤＩ方式）	(6-1.13.1) [6-2.21.1]
	2　通信用ＳＰＤ	・　カテゴリＣ２　・　カテゴリＤ１	
	3　カメラ	・　レンズ（・　標準レンズ　・　広角レンズ　・　望遠レンズ　・　　） ・　電源供給方式（　　）	
	4　モニタ装置	・　解像度（　　）	
	5　録画装置	・　デジタル記憶媒体容量（　　） ・　時刻補正機能（　　方式　） ・　入力映像信号 ・　ネットワーク伝送方式 ・　同軸伝送方式（・　アナログＨＤ方式　・　ＳＤＩ方式）	
	6　時刻同期装置	・　標準電波　・　公衆回線　・　ラジオ放送　・　ＧＰＳ ・　地上デジタル放送　・　ＮＴＰサーバー	
20 火災報知・自動閉鎖・非常警報設備	1　受信機	・（　型　級　回線）　・（・　単独　・　複合） ・（・　自立形　・　壁掛形）	(6-1.16.1) [6-2.24.1]
	2　副受信機	・（　回線）　・（・　単独　・　複合） ・（・　自立形　・　壁掛形）	
	3　発信機	・　専用総合盤（※　埋込形　・　露出形）に組込 ・　消火栓箱組込　・　単独設置	
	4　表示灯	※　ＡＣ２４Ｖ　・　ＤＣ２４Ｖ　・　ＡＣ１００Ｖ	
	5　消火栓ポンプ始動	・　発信機と連動　・　単独押しボタンを設置	
	6　感知器	※　作動確認灯付とする	(6-1.17.1) [6-2.25.1]
	7　連動制御器	・（　回線）　・（・　単独　・　受信機と一体）	
	8　自動閉鎖装置	・　防火戸用（※　本工事　・　別途） ・　防火シャッター用（・　本工事　※　別途）　・（※　磁石式　・　レリーズ式） ・　防火ダンパー用（・　本工事　※　別途）	(6-1.18.1) [6-2.26.1]
	9　非常警報装置	・　機器一体形　・　各機器単独設置　・　緊急地震放送対応	
	10　通信用ＳＰＤ	・　カテゴリＣ２　・　カテゴリＤ１	
21 ガス漏れ火災警報設備	1　受信機	・　本工事　・　別途 ・（　形　回線　※　火報盤と一体形　・　単独）	(6-1.19.1) [6-2.27.1]
	2　検知器	・　都市ガス用　・　ＬＰガス用	
	3　中継器	・（　回線）	
22 防犯設備	1　工事範囲	・　配管工事　・　機器実装	(6-1.15.1) [6-2.23.1]
	2　受信機	・（　回線）	
	3　警戒方式	・　マグネット式　・　赤外線式	
23 試験	1　機材の試験	標準仕様書によるほか，次のものを追加する。 ・ ・	(1-1.5.7) [1-1.6.8]
	2　施工の試験	標準仕様書によるほか、次のものを追加する。 ・　一般照明照度測定（改修は工事前後の測定を行うこと） ※　文部科学省学校環境衛生基準　・　ＪＩＳ照度基準 ・　化学物質の濃度測定　測定する化学物質の種類（　　） 測定方法（　　） 測定対象室及び測定箇所数（　　） ・　総合動作試験	[2.2.19]
24 臨時検査	1　対象機器	本工事にて次の機器を工場で行う臨時検査対象とする。 ・ ・	

関川村役場総務課 〒959-3292　岩船郡関川村下関912　TEL0254(64)1476　FAX0254(64)0079	工事名称	ゆうあい省エネ改修（照明設備LED化）工事	図面名称	ゆうあい　電気設備工事特記仕様書(1)	縮尺　N/S 図面番号　E-01 日付　令和7年　2月

章	項目	特記事項	模倣項目
25 追加特記事項	1 公共事業労務費調査 2 工事監理方式 3 適用基準等 4 総合図 5 工事成績評定 6 アスベスト含有の建材 7 中間技術検査	※ 協力する。 共同監理 ・ あり ※ なし ・営繕工事電子納品要領(案) (国土交通省大臣官房官庁営繕部営繕計画課監修) ※ 工事運行ﾏﾆｭｱﾙ(新潟県土木部都市局営繕課作成) ※ 作成する ・ 作成しない 受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。(様式等は工事運行ﾏﾆｭｱﾙによる。) アスベスト含有の建材は使用しない。 ただし、やむを得ずアスベスト含有建材を使用する場合は事前に監督員と協議を行うこと。 低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を１回実施する。 検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。	

＜表－１＞ 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説 令和３年版」建築設備の耐震設計による ・特定の施設（ ・甲類 ・乙類 ）		・一般の施設（ ・乙類 ）	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2．0	1．5	1．5	1．0
	防振支持の機器	2．0	2．0	2．0	1．5
中間階	機 器	1．5	1．0	1．0	0．6
	防振支持の機器	1．5	1．5	1．5	1．0
地下・1階	機 器	1．0	0．6	0．6	0．4
	防振支持の機器	1．0	1．0	1．0	0．6

重要機器 ： ・ 配電盤 ・ 発電装置 ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
・ 交換機 ・ 火災報知受信機 ・ 中央監視装置 ・

上層階の定義 ： ２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階、
１３階建以上の場合は上層４階とする。

＜表－２＞ あと施工アンカー

1 共通事項	(1) 既設のｺﾝｸﾘｰﾄ及びｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄは原則として使用しない。やむを得ず既設のｺﾝｸﾘｰﾄ及びｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄを再利用する場合は、状態及び強度をよく確認し、十分に清掃してから使用する。 また、引張強度の確認試験については次による。 ( ) (2) あと施工ｱﾝｶｰについては機械設備工事標準図（施工19）による。 (3) 穿孔作業には、専用ﾄﾞﾘﾙ、振動ﾄﾞﾘﾙやﾊﾝﾏｰﾄﾞﾘﾙ等を使用し、必要埋設深さを確保するため、穿孔深さのﾄﾞﾘﾙへの表示やｽﾄｯﾊﾟｰ付きﾄﾞﾘﾙの使用等を行う。
2 重要機器用のあと施工ｱﾝｶｰ	(1) 重要機器の耐震固定等に使用するあと施工ｱﾝｶｰは金属拡張ｱﾝｶｰ又は接着系ｱﾝｶｰとし、耐震計算にて選定を行う。 (2) 金属拡張ｱﾝｶｰの仕様は、次による。 (ｱ) 金属拡張ｱﾝｶｰは、(社)日本建築あと施工ｱﾝｶｰ協会の金属系あと施工ｱﾝｶｰ品質性能判定表の性能を満足する製品とする。 (ｲ) 金属拡張ｱﾝｶｰのｾｯﾄ方式は、図示による。図示がなければ、本体打込み式とする。 (ｳ) 金属拡張ｱﾝｶｰ本体の径及び埋め込み深さは、図示による。 (ｴ) ｱﾞﾎﾞ筋の種類、径及び長さは図示による。 (3) 接着系ｱﾝｶｰの仕様は、次による。なお、次により施工が困難な場合は、監督員と相談すること。 (ｱ) 接着系ｱﾝｶｰは、(社)日本建築あと施工ｱﾝｶｰ協会の接着系あと施工ｱﾝｶｰ品質性能判定表の性能を満足する製品とする。 (ｲ) 接着系ｱﾝｶｰは、ｶﾌﾟｾﾙ型とし、接着剤の材質及びｶﾌﾟｾﾙの種類は図示による。 (ｳ) 接着系ｱﾝｶｰの埋込深さ及び許容引抜荷重については、機械設備工事標準図（施工19）による。 (4) あと施工ｱﾝｶｰの施工には、工事内容に相応した施工の指導を行うあと施工ｱﾝｶｰ技術管理士又は主任技士を置く。 (5) あと施工ｱﾝｶｰ作業における技能者は、あと施工ｱﾝｶｰ工事の施工に関する十分な経験と技能を有する主任技士又は第１・２種あと施工ｱﾝｶｰ施工士とする。 (6) あと施工ｱﾝｶｰの撤去は、専用の工具を使用し、構造物に影響を与えないようにすること。

＜表－３＞ 用語の説明

（１）「撤去」とは、既存物を壊し取ること。
（２）「取外し」とは、再使用を考慮して、丁寧に外すこと。
（３）「撤去・新設」とは、既存物を撤去し、新たな物を設置すること。
（４）「取外し・再取付」とは、既存物を取外し、同じ物を取付けること。 [1-1.4.3]
（５）「備品移動」とは、工事の施工に支障となる備品を一時別の場所に保管し、
工事終了後に元の場所に戻すこと。

＜表－４＞ 発生材の処理等

１．再生資材の利用

下表資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規 格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備 考

２．建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下表の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工 事 名	発生場所	施工会社名・連絡先	備 考

３．建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下表の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称				
工事場所／施設所在地				
連 絡 先				
仮置場所の有無				
備 考				

４．建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下表の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名				
処理施設名称				
施設所在地				
連 絡 先				
備 考				

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

５．建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、 同法第１８条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

６．自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

７．協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

＜表－５＞工事区分表

注） 原則○印を適用する。
ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項 目		建	電	空	衛	昇			備 考
躯体関係									
1.RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通ｽﾘｰﾌﾞ材及び取付け	○	○	○	○	○			
	補強を要する型枠材及び取付け	○							
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○			防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○	○			防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補強	○							
	ｽﾘｰﾌﾞ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	○			
2.S・SRC造・はり貫通口	S・SRC造貫通鋼管鋼管ｽﾘｰﾌﾞ・補強	○							
	使用されたｽﾘｰﾌﾞの穴埋め	○	○	○	○	○			
	予備ｽﾘｰﾌﾞの穴埋め	○	○	○	○	○			
3.設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○							
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○	○				
	屋外・屋上の基礎	○							
	屋上基礎で押さえｺﾝｸﾘｰﾄしない軽微なもの		○	○	○				
	機器取付け用ｱﾝｶｰ・架台		○	○	○				
	屋内受水ﾀﾝｸ用の基礎	○							
仕上げ関係									
軽鉄天井・壁下地	補強を用するｷﾞｰﾄﾞの切り込み及び下地の補強	○							
	補強を用しないｷﾞｰﾄﾞの切り込み		○	○	○				
	開口部の墨出し		○	○	○				
電気関係									
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			○	○				二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○						一次側
	機器と付属操作ｽｲｯﾁの取付け及び渡り配管配線			○	○				
その他（工事区分を特に間違えやすい項目）									
天井材の取外し再取付	各種配管配線作業用	○	△	△	△				小規模は監督員と協議
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△				小規模は監督員と協議
流し台、ガス台		○							
便所手洗いカウンター		○							衛生陶器は衛生設備
洗面化粧台					○				
誘導標識		○							誘導灯は電気設備
ガス漏れ警報器					○				ガス漏れ火災警報設備は電気設備
24H換気扇	機器納入				○				
連動スイッチ	取付		○						
湯沸器	機器納入				○				
連動スイッチ	取付		○						
上記以外換気扇スイッチ	機器納入、取付		○						

＜表－６＞機器取付高

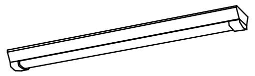
機器取付高は、下表を標準とする。ただし、監督員の指示により変更することがある。

	名称		測点	取付高（mm）
電力共通	取引用計器		地上・上端	※ 2,000
	引込開閉器		〃	※ 1,800
電灯	分電盤		床上・中心	※ 1,500（上端1,900以下）
	タンブラスイッチ	（一般）	〃	※ 1,300
	〃	（身障者用）	〃	※ 900～1,000
	コンセント	（一般）	〃	※ 300
	〃	（和室）	〃	※ 200
	〃	（台上）	台上・中心	※ 150
	ブラケット	（一般）	床上・中心	※ 2,100
	〃	（踊場）	〃	※ 2,500
	〃	（鏡上）	鏡端・中心	※ 150
	〃	（浴室）	床上・中心	※ 天井高×0.9
	非常照明器具用遮断器		-	※ 1,200
	避難口誘導灯		床上・下端	※ 1,500以上
	廊下通路誘導灯		床上・上端	※ 1,000以下
動力	壁掛型制御盤		床上・中心	※ 1,500
	手元開閉器		〃	※ 1,500(上端1,900以下)
	操作スイッチ・押ボタン		〃	※ 1,300
電話	室内端子盤		床上・下端	※ 300
	中間端子盤		床上・中心	※ 1,500
	保安器箱		〃	※ 天井高×0.9
	壁掛位置ボックス	（一般）	床上・中心	※ 300
	〃	（和室）	〃	※ 200
時計	壁掛形親時計		床上・中心	※ 1,500(上端1,900以下)
	子時計		〃	※ 天井高×0.9
拡声	壁掛形スピーカー		床上・中心	※ 天井高×0.9
	壁付音量調整器		〃	※ 1,300
表示・電鈴	表示盤		床上・中心	※ 天井高×0.9
	壁付発信器		〃	※ 1,300
	ブザー・ベル		〃	※ 天井高×0.9
	押ボタン	（一般）	〃	※ 1,300
	〃	（身障者用）	〃	900～1,000
インターホン	壁付インターホン		床上・中心	※ 1,300
	身体障害者用		〃	※ 1,000
	壁付位置ボックス	（一般）	〃	※ 300
	〃	（和室）	〃	※ 200
テレビ	機器収容箱		床上・中心	※ 1,500
	テレビアウトレット	（一般）	〃	※ 300
	〃	（和室）	〃	※ 200
火災報知器	受信機・副受信機		床上・操作部	※ 800～1,500
	専用総合盤		床上・中心	
	発信器		〃	
	ベル		〃	2,300
	消火栓・表示灯		〃	※ 2,100
	試験器		〃	※ 1,500
ガス警報器	ＬＰガス用		床上・上端	※ 300以内
	都市ガス用		天井面・下端	※ 300以内

関川村役場総務課
〒959-3292 岩船郡関川村下関912 TEL0254(64)1476 FAX0254(64)0079

工事名称	ゆうあい省エネ改修（照明設備LED化）工事	図面名称	ゆうあい 電気設備工事特記仕様書(2)	縮 尺	N/S	図面番号	E-02
						日 付	令和7年 2月

Ａ１　ｉＤシリーズ直付形４０形　Ｄスタイル　防湿型・防雨型　Ｗ１５０

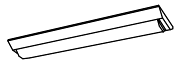


相当品

一般タイプ、２５００ｌｍタイプ
消費電力１６．３Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：ステンレス（高反射白色粉体塗装）
防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）＋アクリルコーティング
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
ＩＰ２３防湿型、昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　ＸＬＷ４２３ＡＥＮＺＬＥ９

Ａ２　ｉＤシリーズ直付型２０形　Ｄスタイル　Ｗ１５０

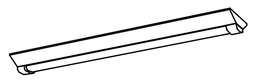


相当品

一般タイプ、１６００ｌｍタイプ
消費電力１１．６Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　ＸＬＸ２１０ＡＥＮＣＬＥ９

Ａ３　ｉＤシリーズ直付形４０形　Ｄスタイル　防湿型・防雨型　Ｗ２３０

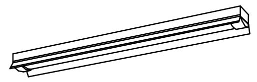


相当品

一般タイプ、５２００ｌｍタイプ
消費電力３２．５Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：ステンレス（高反射白色粉体塗装）
防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）＋アクリルコーティング
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
ＩＰ２３防湿型、昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　ＸＬＷ４５３ＤＥＮＺＬＥ９

Ｂ　ｉＤシリーズ直付型４０形　反射笠付型　防湿型・防雨型

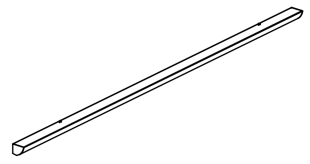


相当品

一般タイプ、２５００ｌｍタイプ
消費電力１６．３Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：ステンレス（高反射白色粉体塗装）
防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）＋アクリルコーティング
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
ＩＰ２３防湿型、昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　ＸＬＷ４２３ＫＥＮＺＬＥ９

Ｃ　ＬＥＤ高演色ミラーライト　Ｗ１２１０

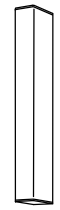


相当品

標準タイプ、５０００Ｋ、高演色Ｒａ９３、高演色タイプ　クラス２
器具光束２７３０ｌｍ、消費電力２２．８Ｗ、電圧１００Ｖ
カバー：プラスチック（乳白）
サイドカバー：プラスチック（ホワイトつや消し）
壁面（横向け）取付専用
幅１２１０・高８７・出しろ１１０

パナソニック　ＮＮＮ１５５１０ＬＥ１

Ｄ　ＬＥＤウォールライト　２０形

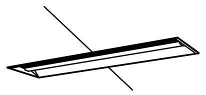


相当品

ＬＥＤ内蔵、電源ユニット内蔵
防湿型・防雨型
５０００Ｋ、Ｒａ８３、光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
器具光束９９０ｌｍ、消費電力１０Ｗ、電圧１００～２４２Ｖ
本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白）
天井直付型・壁直付型、保護等級：ＩＰ２３

パナソニック　ＮＮＦＷ２１８００ＫＬＥ９

Ｅ　ｉＤシリーズ埋込型４０形　下面開放型　Ｗ３００

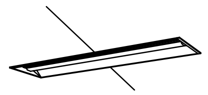


相当品

一般タイプ、５２００ｌｍタイプ
消費電力３１．９Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　ＸＦＸ４５０ＶＥＮＬＥ９

Ｅ１　ｉＤシリーズ埋込型４０形　下面開放型　Ｗ３００

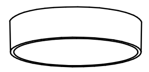


相当品

一般タイプ、４０００ｌｍタイプ
消費電力２５Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　ＸＦＸ４４０ＶＥＮＬＥ９

Ｆ　ＬＥＤシーリングライト　６０形電球１灯器具相当

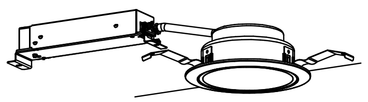


相当品

電球色（２７００Ｋ）、Ｒａ８３
器具光束５３０ｌｍ、消費電力６、電圧１００Ｖ
天井面・壁面取付専用
カバー：プラスチック（ホワイト）
送り用端子台付

パナソニック　ＬＧＢ５１６５５ＬＥ１

Ｇ　ダウンライト　１００形

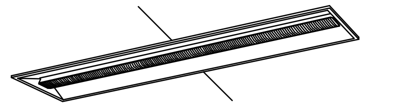


相当品

ＬＥＤ内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ
５０００Ｋ、Ｒａ８５、拡散タイプ
光源遮光角１５度、光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
器具光束：１０４０ｌｍ、消費電力：７Ｗ、電圧：１００－２４２Ｖ
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
反射板（下部）：鋼板（ホワイトつや消し仕上）
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ１２５

パナソニック　ＸＮＤ１０５９ＷＮＬＥ９

Ｈ　ｉＤシリーズ埋込型４０形　グレアセーブライトバー　Ｗ３００

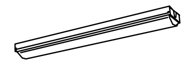


相当品

マルチコンフォートタイプ、一般タイプ、６９００ｌｍタイプ
消費電力４３．１Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３、電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　ＸＬＸ４６０ＶＫＮＴＬＥ９

Ｉ　ｉＤシリーズ直付型２０形　ｉスタイル

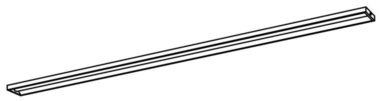


相当品

一般タイプ、１６００ｌｍタイプ
消費電力１１．６Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　ＸＬＸ２１０ＮＥＮＣＬＥ９

Ｍ　ｉＤシリーズ直付型１１０形　スリムベース

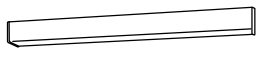


相当品

一般タイプ、６４００ｌｍタイプ
消費電力３９．８Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３、電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　ＸＬＸ８６０ＳＥＮＪＬＥ９

Ｎ　ＬＥＤウォールライト　４０形

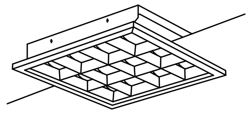


相当品

ＬＥＤ内蔵、電源ユニット内蔵
防湿型・防雨型
５０００Ｋ、Ｒａ８３、光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
器具光束２２１０ｌｍ、消費電力１９．９Ｗ、電圧１００～２４２Ｖ
本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白）
天井直付型・壁直付型、保護等級：ＩＰ２３

パナソニック　ＮＮＦＷ４１８００ＣＬＥ９

Ｏ　ＬＥＤスクエアベースライト　ＦＨＰ４５形×３灯節電タイプ　埋込型

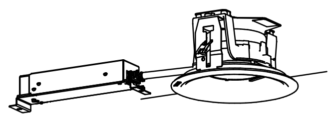


相当品

□６００、マルチコンフォート１５、調光可能タイプ（約１０～１００％）
電圧：１００～２４２Ｖ
光束維持時間：４００００時間（光束維持率８５％）、Ｒａ：８３
本体：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ルーバ：亜鉛鋼板（高反射白色粉体塗装）
点灯ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
昼白色（５０００Ｋ）

パナソニック　ＸＬ３８２ＬＷＶＬＡ９

Ｐ　軒下用ダウンライト　１００形

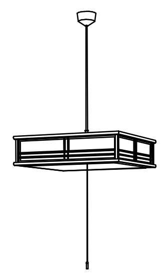


相当品

ＬＥＤ内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、軒下用（防雨型）
５０００Ｋ、Ｒａ８５、拡散タイプ、一般光色タイプ、光源遮光角１５度
器具光束：９７０ｌｍ、消費電力：７Ｗ、電圧：１００－２４２Ｖ
光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）
パネル：アクリル（透明）、埋込穴：φ１５０

パナソニック　ＸＮＷ１０６３ＷＮＬＥ９

Ｑ１　ＬＥＤペンダント

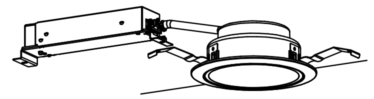


相当品

昼光色（６２００Ｋ）、Ｒａ８３
器具光束３４０５ｌｍ、消費電力２８．１Ｗ、電圧１００Ｖ
引掛シーリング方式、プルスイッチ付
セード：プラスチック（乳白つや消し）、枠：プラスチック（白木調）
丸型フランジ付、蓄光スイッチつまみ付

パナソニック　ＬＧＢ１２６２５ＬＥ１

Ｒ１　ダウンライト　６０形

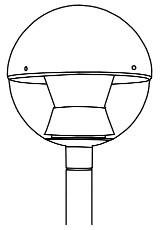


相当品

ＬＥＤ内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ
５０００Ｋ、Ｒａ８５、拡散タイプ
光源遮光角１５度、光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
器具光束：６１５ｌｍ、消費電力：４．２Ｗ、電圧：１００－２４２Ｖ
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
反射板（下部）：鋼板（ホワイトつや消し仕上）
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ１２５

パナソニック　ＸＮＤ０６５９ＷＮＬＥ９

Ｓ　ＬＥＤ街路灯エバーライト１４０形相当

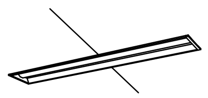


相当品

光束８２００ｌｍ、消費電力９８Ｗ、電圧１００～２４２Ｖ
昼白色、５０００Ｋ、Ｒａ７０、光束維持時間６万時間（光束維持率７０％）
本体：アルミダイカスト（ミディアムグレーメタリック）
グローブ：ポリカーボネート（透明）
天板：アルミ（ミディアムグレーメタリック）
上方光束比５～１５％、耐雷サージ１５ｋＶ、耐風速６０ｍ
落下防止ワイヤー付

パナソニック　ＮＮＹ２２６９０ＬＥ９

Ｔ１　ｉＤシリーズ埋込型４０形　下面開放型　Ｗ１９０

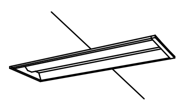


相当品

一般タイプ、２５００ｌｍタイプ
消費電力１６．３Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　ＸＦＸ４２０ＲＥＮＬＥ９

Ｔ２　ｉＤシリーズ埋込型２０形　下面開放型　Ｗ１９０

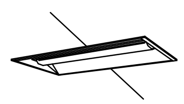


相当品

一般タイプ、１６００ｌｍタイプ
消費電力１１．６Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３、電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　ＸＬＸ２１０ＲＥＮＪＬＥ９

Ｔ３　ｉＤシリーズ埋込型２０形　下面開放型　Ｗ３００

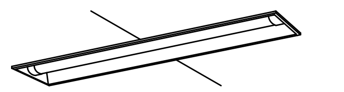


相当品

一般タイプ、１６００ｌｍタイプ
消費電力１１．６Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３、電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　ＸＬＸ２１０ＶＥＮＪＬＥ９

Ｔ４　ｉＤシリーズ埋込型４０形　下面開放型　防湿型・防雨型　（Ｗ３００加工）

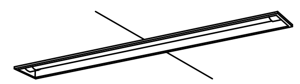


相当品

一般タイプ、５２００ｌｍタイプ
消費電力３２．５Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：ステンレス（高反射白色粉体塗装）
防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）＋アクリルコーティング
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
ＩＰ２３防湿型、昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　埋込ＸＬＷ４５３ＵＥＮＺＬＥ９

Ｔ５　ｉＤシリーズ埋込型４０形　下面開放型　防湿型・防雨型　（Ｗ１９０加工）



相当品

一般タイプ、２５００ｌｍタイプ
消費電力１６．３Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：ステンレス（高反射白色粉体塗装）
防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）＋アクリルコーティング
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
ＩＰ２３防湿型、昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　埋込ＸＬＷ４２３ＭＥＮＺＬＥ９

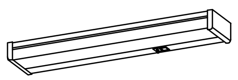
Ｖ　ｉＤシリーズ直付型２０形　スリムベース

相当品

一般タイプ、１６００ｌｍタイプ
消費電力１１．６Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３、電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　ＸＬＸ２１０ＳＥＮＪＬＥ９

Ｗ　ＬＥＤキッチンライト　２０形直管蛍光灯１灯器具相当

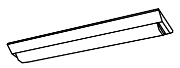


相当品

昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
器具光束９８０ｌｍ、消費電力１２Ｗ、電圧１００Ｖ
拡散タイプ、天井直付型・壁直付型
カバー：プラスチック（乳白）
タッチレススイッチ付

パナソニック　ＬＧＢ５２０８５ＬＥ１

Ｘ　ｉＤシリーズ直付型２０形　Ｄスタイル　Ｗ１５０

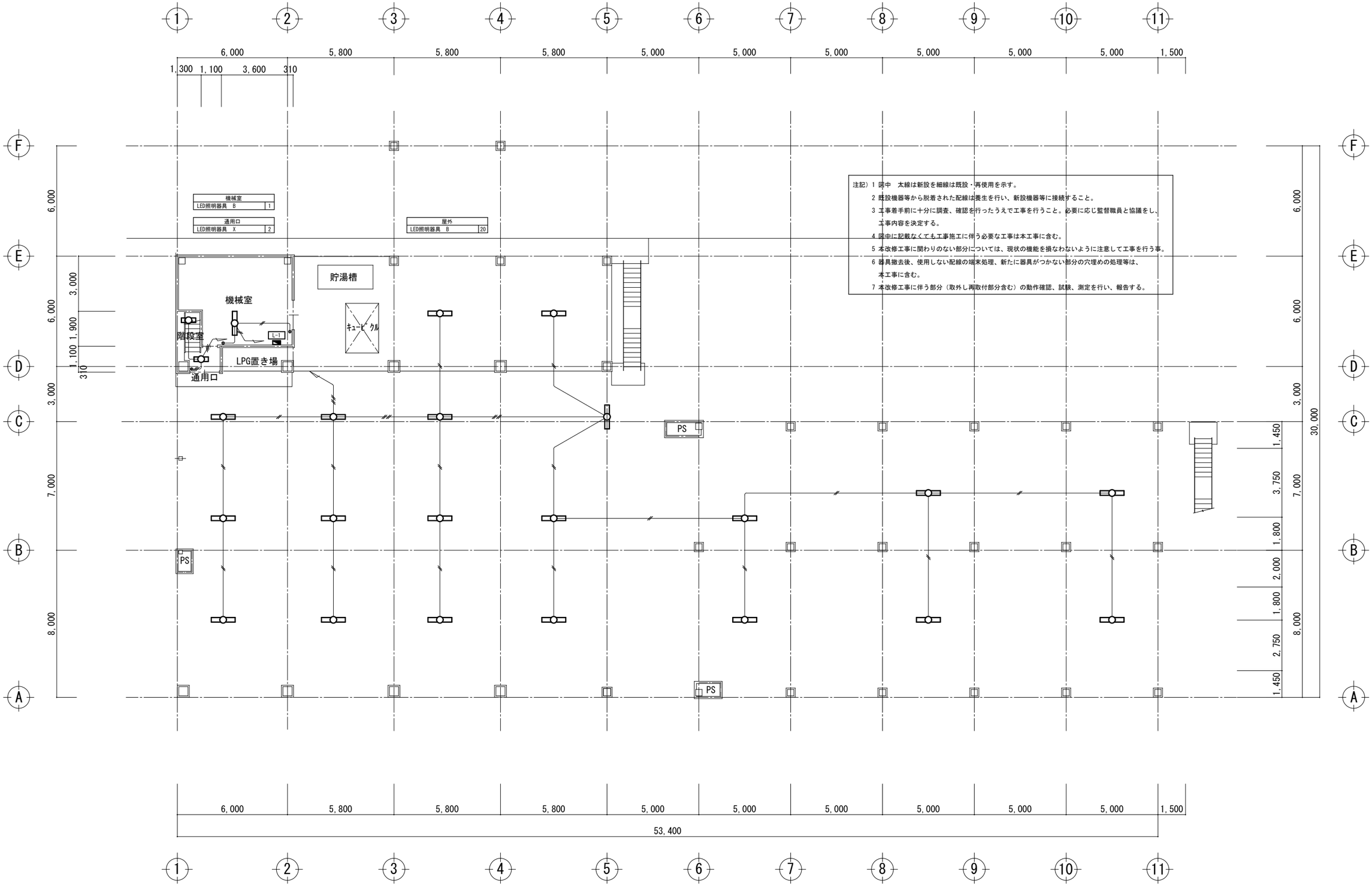


相当品

一般タイプ、８００ｌｍタイプ
消費電力６Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

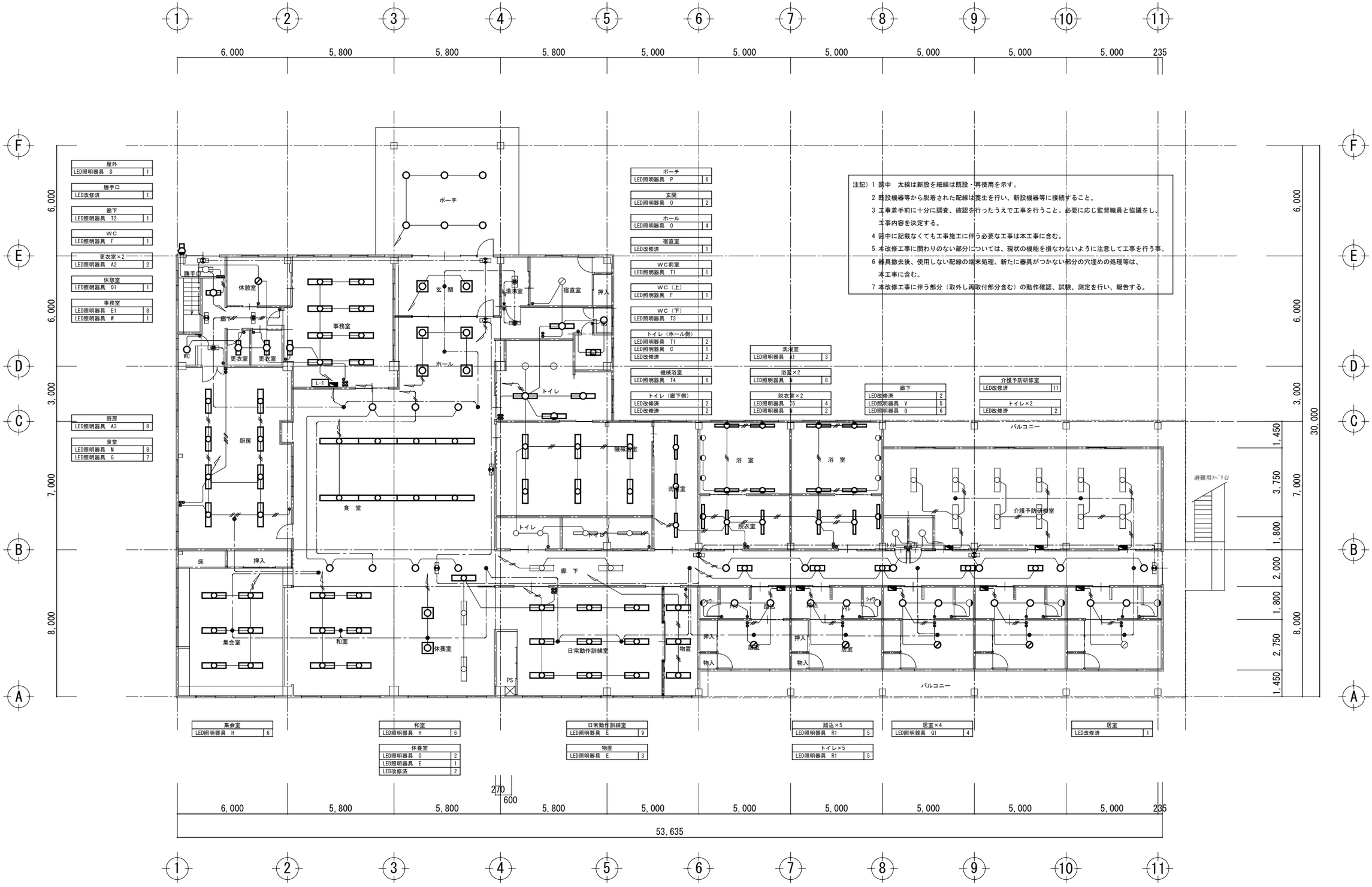
パナソニック　ＸＬＸ２００ＡＥＮＣＬＥ９

関川村役場総務課 〒959-3292　岩船郡関川村下関912　TEL0254(64)1476　FAX0254(64)0079	工事名称	ゆうあい省エネ改修（照明設備LED化）工事	図面名称	ゆうあい　照明設備姿図	縮　尺	N/S
					図面番号	E-03
					日　付	令和7年　2月



注記）1 図中　太線は新設を細線は既設・再使用を示す。
2 既設機器等から脱着された配線は養生を行い、新設機器等に接続すること。
3 工事着手前に十分に調査、確認を行ったうえで工事を行うこと。必要に応じ監督職員と協議をし、工事内容を決定する。
4 図中に記載なくても工事施工に伴う必要な工事は本工事に含む。
5 本改修工事に関わりのない部分については、現状の機能を損なわないように注意して工事を行う事。
6 器具撤去後、使用しない配線の端末処理、新たに器具がつかない部分の穴埋めの処理等は、本工事に含む。
7 本改修工事に伴う部分（取外し再取付部分含む）の動作確認、試験、測定を行い、報告する。

関川村役場総務課 〒959-3292 岩船郡関川村下関912 TEL0254(64)1476 FAX0254(64)0079	工事名称	ゆうあい省エネ改修（照明設備LED化）工事	図面名称	ゆうあい　電灯設備　１階平面図（改修後）	縮　尺	N/S	図面番号	E-04
							日　付	令和7年　2月



屋外	
LED照明器具 D	1

勝手口	
LED改修済	1

廊下	
LED照明器具 T2	1

WC	
LED照明器具 F	1

更衣室×2	
LED照明器具 A2	2

休憩室	
LED照明器具 Q1	1

事務室	
LED照明器具 E1	8
LED照明器具 W	1

厨房	
LED照明器具 A3	8

食堂	
LED照明器具 M	8
LED照明器具 G	7

ポーチ	
LED照明器具 P	6

玄関	
LED照明器具 O	2

ホール	
LED照明器具 O	4

宿直室	
LED改修済	1

WC前室	
LED照明器具 T1	1

WC（上）	
LED照明器具 F	1

WC（下）	
LED照明器具 T3	1

トイレ（ホール側）	
LED照明器具 T1	2
LED照明器具 C	1
LED改修済	2

機械浴室	
LED照明器具 T4	6

トイレ（廊下側）	
LED改修済	2
LED改修済	2

注記）1 図中　太線は新設を細線は既設・再使用を示す。
2 既設機器等から脱着された配線は養生を行い、新設機器等に接続すること。
3 工事着手前に十分に調査、確認を行ったうえで工事を行うこと。必要に応じ監督職員と協議をし、工事内容を決定する。
4 図中に記載なくても工事施工に伴う必要な工事は本工事に含む。
5 本改修工事に関わりのない部分については、現状の機能を損なわないように注意して工事を行う事。
6 器具撤去後、使用しない配線の端末処理、新たに器具がつかない部分の穴埋めの処理等は、本工事に含む。
7 本改修工事に伴う部分（取外し再取付部分含む）の動作確認、試験、測定を行い、報告する。

洗濯室	
LED照明器具 A1	3

浴室×2	
LED照明器具 N	8

脱衣室×2	
LED照明器具 T5	4
LED照明器具 N	2

廊下	
LED改修済	2
LED照明器具 V	5
LED照明器具 G	6

介護予防研修室	
LED改修済	11

トイレ×2	
LED改修済	2

集会室	
LED照明器具 H	6

和室	
LED照明器具 H	6

休養室	
LED照明器具 O	2
LED照明器具 E	1
LED改修済	2

日常動作訓練室	
LED照明器具 E	9

物置	
LED照明器具 E	3

踏込×5	
LED照明器具 R1	5

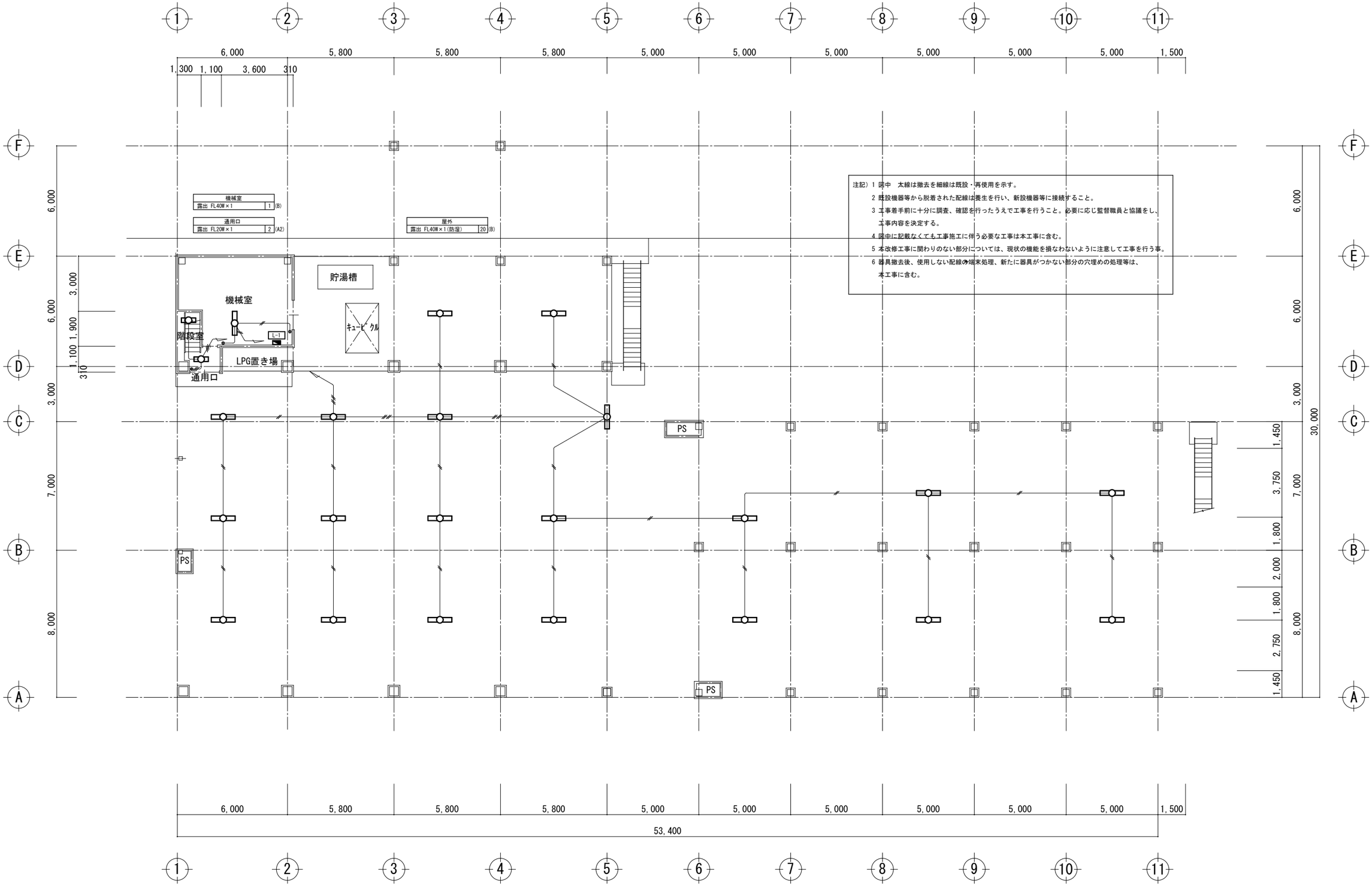
トイレ×5	
LED照明器具 R1	5

居室×4	
LED照明器具 Q1	4

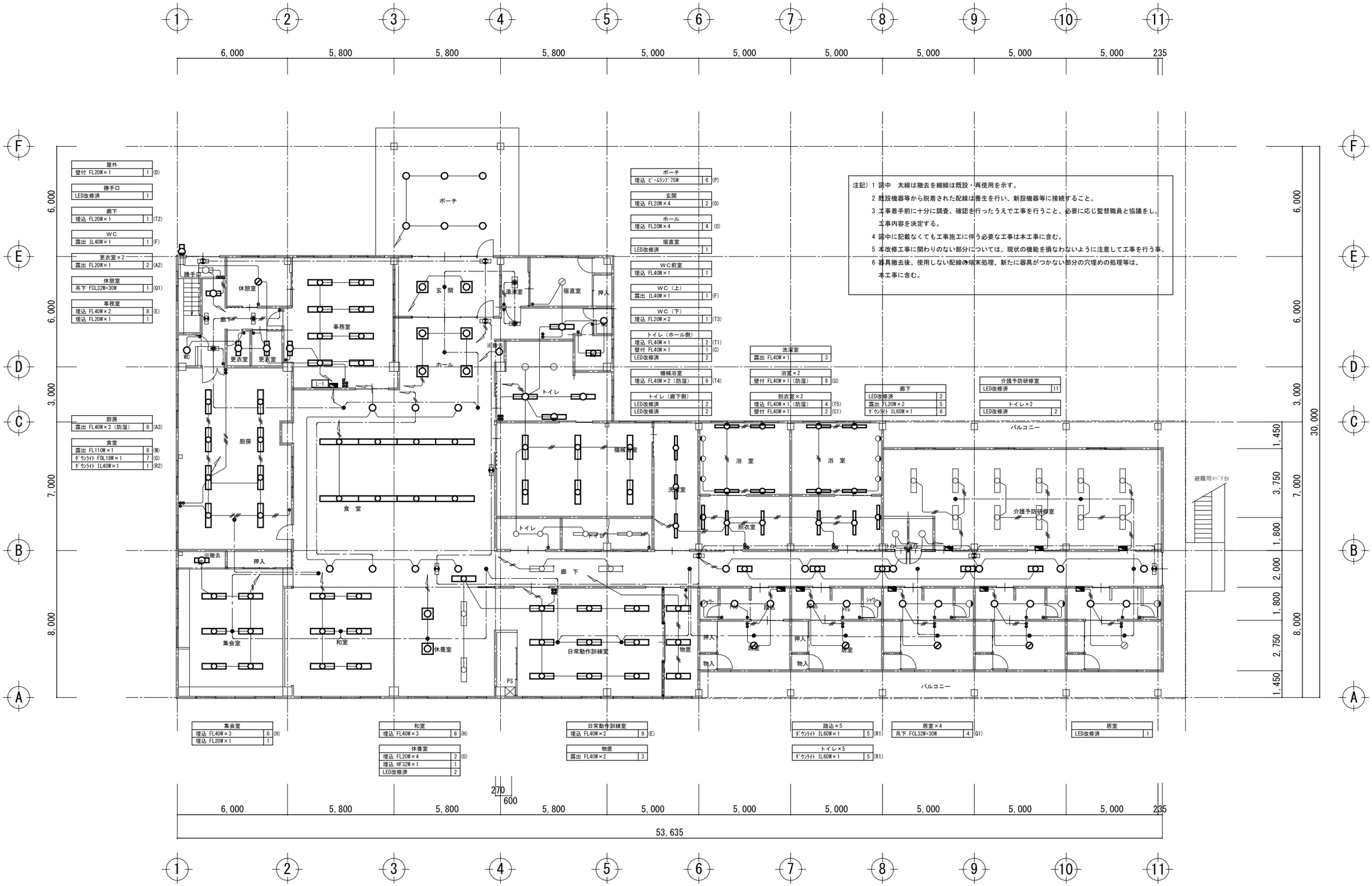
居室	
LED改修済	1

関川村役場総務課
〒959-3292　岩船郡関川村下関912　TEL0254(64)1476　FAX0254(64)0079

工事名称	ゆうあい省エネ改修（照明設備LED化）工事	図面名称	ゆうあい　電灯設備　２階平面図（改修後）	縮　尺	N/S	図面番号	E-05
						日　付	令和7年　2月



関川村役場総務課 〒959-3292 岩船郡関川村下関912 TEL0254(64)1476 FAX0254(64)0079	工事名称	ゆうあい省エネ改修（照明設備LED化）工事	図面名称	ゆうあい　電灯設備　１階平面図（改修前）	縮　尺	N/S	図面番号	E-06
							日　付	令和7年　2月



注記）1 図中　太線は撤去を細線は既設・再使用を示す。
2 既設機器等から脱着された配線は養生を行い、新設機器等に接続すること。
3 工事着手前に十分に調査、確認を行ったうえで工事を行うこと。必要に応じ監督職員と協議をし、工事内容を決定する。
4 図中に記載なくても工事施工に伴う必要な工事は本工事に含む。
5 本改修工事に関わりのない部分については、現状の機能を損なわないように注意して工事を行う事。
6 器具撤去後、使用しない配線の端末処理、新たに器具がつかない部分の穴埋めの処理等は、本工事に含む。

屋外		
壁付 FL20W×1	1	(D)

勝手口	
LED改修済	1

廊下		
埋込 FL20W×1	1	(T2)

WC		
露出 IL40W×1	1	(F)

更衣室×2		
露出 FL20W×1	2	(A2)

休憩室		
吊下 FCL32W+30W	1	(Q1)

事務室		
埋込 FL40W×2	8	(E)
埋込 FL20W×1	1	

厨房		
露出 FL40W×2（防湿）	8	(A3)

食堂		
露出 FL110W×1	8	(M)
ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ FDL18W×1	7	(G)
ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ IL40W×1	1	(R2)

ポーチ		
埋込 ﾋﾞｰﾑﾗﾝﾌﾟ 75W	6	(P)

玄関		
埋込 FL20W×4	2	(O)

ホール		
埋込 FL20W×4	4	(O)

宿直室	
LED改修済	1

WC前室	
埋込 FL40W×1	1

WC（上）		
露出 IL40W×1	1	(F)

WC（下）		
埋込 FL20W×2	1	(T3)

トイレ（ホール側）		
埋込 FL40W×1	2	(T1)
壁付 FL40W×1	1	(C)
LED改修済	2	

機械浴室		
埋込 FL40W×2（防湿）	6	(T4)

トイレ（廊下側）	
LED改修済	2
LED改修済	2

洗濯室	
露出 FL40W×1	3

浴室×2		
壁付 FL40W×1（防湿）	8	(U)

脱衣室×2		
埋込 FL40W×1（防湿）	4	(T5)
壁付 FL40W×1	2	(C1)

廊下	
LED改修済	2
露出 FL20W×2	5
ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ IL60W×1	6

介護予防研修室	
LED改修済	11

トイレ×2	
LED改修済	2

集会室		
埋込 FL40W×3	6	(H)
埋込 FL20W×1	1	

和室		
埋込 FL40W×3	6	(H)

休養室		
埋込 FL20W×4	2	(O)
埋込 HF32W×1	1	
LED改修済	2	

日常動作訓練室		
埋込 FL40W×2	9	(E)

物置	
露出 FL40W×2	3

踏込×5		
ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ IL60W×1	5	(R1)

トイレ×5		
ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ IL60W×1	5	(R1)

居室×4		
吊下 FCL32W+30W	4	(Q1)

居室	
LED改修済	1

関川村役場総務課
〒959-3292　岩船郡関川村下関912　TEL0254(64)1476　FAX0254(64)0079

工事名称	ゆうあい省エネ改修（照明設備LED化）工事	図面名称	ゆうあい　電灯設備　２階平面図（改修前）	縮　尺	N/S	図面番号	E-07
						日　付	令和7年　2月